



富山県南砺市・上市町編

52

富山署

平成二十七年に北陸新幹線が開通し、北陸地方が注目される中で、富山県でも立山黒部アルペンルートや黒部峡谷などの観光地が以前にも増して賑わいをみせています。

そのような中で今回は、富山県の西部に位置する南砺市と東部の上市町から歴史を感じる事ができる名所をご紹介します。

■名刺 瑞泉寺

彫刻の町、南砺市井波にある井波別院瑞泉寺は、今から約六百年前の一三九〇



瑞泉寺山門

年に本願寺五代門主禪如上人が建立したと伝えられています。

これまでに三度火災により焼失しましたが、信仰心の厚い門徒により再建され今日に至ります。再建の際には、ケヤキの巨木が使われるなど、本堂脇の廊下にはその名残を見ることが出来ます。

また、瑞泉寺再建により発展した「井波彫刻」は、欄間・獅子頭・天神様などの伝統工芸品を生み出し、彫刻産業全国最大規模となりました。

◎アクセス
○JR 西日本城端線福光駅から車で十五分
○北陸自動車道砺波ICから車で十五分

■本物の和紙 悠久紙

秘境の奥山南砺市の「五箇山」では、古くから手漉きによる和紙づくりが盛んに行われ、今日まで伝統が受け継がれてきています。

富山県内では、朝日町、富山市八尾町などでも和紙づくりが行われていますが、ここ五箇山では、楮一〇〇割で漉いた紙は千年の耐久性があると言われ、全国和紙の中でも最も優れた紙として、京都・桂離宮の大修理にも用いられています。



井波彫刻



雪さらしの様子

ます。

昔と同じ技法で漉かれた和紙だけが文化財を保存する紙として認められ、特徴的なのは、冬の楮の「雪さらし」、楮の葉緑素を自然の力で漂白する作業が行われているところです。

昔ながらの作り方で漉いた本物の紙には、時代を越えても変わらない、美しさと力強さがあります。

◎アクセス
○東海北陸自動車道五箇山ICから車で二十五分

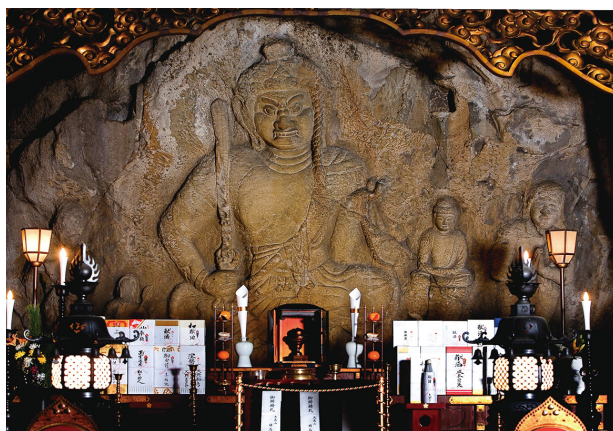
■大岩不動尊 磨崖仏

上市町には、千三百年の歴史を有する大岩山日石寺があり、寺の境内には七二五年に行基が彫ったと伝わる国の重要文化財の「大岩日石寺磨崖仏」があります。

高さは三メートルを超え、顔は両目を見開き、右手に知恵を表す剣、左手に慈悲を表す絹索と摩尼宝珠を持っており、実際にこの石像を目にすると、その迫力に圧倒されてしまいます。

この他にも六本滝があり、煩惱を払うための滝行が行われており、ここを訪れる老若男女は後を絶たず、心身の鍛練が行われています。

寺の門前では、名物の山菜料理や素麺を出す店が軒を連ねており、お参りで見えた人々の憩いの場となっています。



大岩山日石寺磨崖仏

◎アクセス

○富山地方鉄道上市駅からバスで二十五分
○北陸自動車道立山ICから車で十五分